

がんのつらい症状を和らげるために 緩和的画像下治療(IVR)のご案内

～ 画像を見ながら、できるだけ身体への負担を少なく、
がんによる痛みや合併症を和らげる治療です ～



緩和的画像下治療(IVR)とは？

CT・超音波・X線などの画像を見ながら、
細い針やカテーテルを使って、がんによる
痛み・出血・閉塞などの症状を和らげる治療です。
外科手術に比べて身体への負担が少なく、
高齢の方や体力の低下した方でも受けられる可能性のある治療です。

がんそのものを
根治する治療ではなく、
「つらい症状を和らげる」ことを
目的とした治療です。



主な治療の内容

腫瘍への穿刺・焼灼



CTや超音波で腫瘍を確認し、
針を刺して熱などで腫瘍を
処置します。

腫瘍による痛みの軽減など

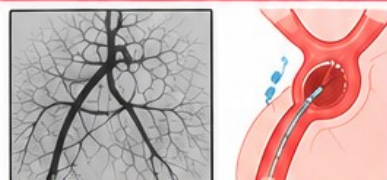
神経ブロック



CT・超音波で神経を確認し、
神経の近くに薬剤を注入します。

がんによる強い疼痛の緩和

動脈塞栓術 (TAE)



出血している血管をカテーテル
で特定し、塞栓物質で血流を
止めます。

腫瘍出血・消化管出血などの止血

腫瘍・液体貯留のドレナージ



CT・超音波で位置を確認して
針・カテーテルを入れます。

膿瘍、腹水、胸水などの排液

尿路ドレナージ



腎臓から尿を体外へ流す管を入れます。

尿路閉塞・腎機能低下の改善

胆道ドレナージ



胆管に細い管を入れて胆汁を
体外または腸管へ流します。

閉塞性黄疸・胆管閉塞の改善

実施体制



多職種チームで対応します



医師

看護師

放射線技師

緩和ケアチーム
(医師・看護師・薬剤師など)

各専門職が連携し、患者さん一人ひとりの状態に合わせた
最適な治療を行います。

主な設備・機器



- ・CT装置
- ・超音波装置
- ・血管造影装置(アンギオ装置)
- ・IVR専用カテーテル・穿刺針など

治療の流れ

- 1 診察・検査
症状や画像検査で適応を判断します。
- 2 治療の説明
治療内容・リスク・効果について
丁寧に説明します。
- 3 IVR治療の実施
画像を見ながら安全に治療を行います。
- 4 治療後のフォロー
症状の変化を確認し、今後の治療方針を
一緒に考えます。

つらい症状でお困りの方は、
お気軽に主治医・看護師にご相談ください。

私たちは、患者さんご家族の
「その人らしい時間」を支えるために
チームで取り組んでいます。